



## 全国学力学習状況調査について

過日、小学6年生と中学3年生を対象に実施している全国学力学習状況調査の結果を配布しました。6年生には、個票を配布しましたので、自身の状況を知り今後の学習に生かしていただきたいと思います。

今号は、国語・算数・児童質問紙（生活・学習状況アンケート）について、本校の結果を分析し、お知らせいたします。学校でも、それぞれの教科や生活の課題と解決策を今後の指導や教育課程の編成に生かしていきます。

### 国語

#### 【課題】

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うということ。  
【言葉の特徴や使い方に関する事項】
- ・人物像を具体的に想像することができるかどうかということ。【読むこと】
- ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかということ。【読むこと】

#### 【解決策】

- ・目標を明確にした漢字コンテストや日々の自主学習等、積み重ねの学習ができるようにする。
- ・話し手が伝えたいことを中心に捉えるために、相手や目的を考えた言葉遣いを意識させ、日常的に適切な言葉遣いを指導していく。
- ・聞きたいことを中心に捉えるために、表現された言葉の目的や意図をじっくり考えさせ、「さらに深める発問」をすることで力をつけていく。

### 算数

#### 【課題】

- ・問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかということ。【数と計算】
- ・直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうか。【図形】
- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうか。  
【変化と関係】

#### 【解決策】

- ・目標を明確にした計算コンテストや日々の自主学習等、積み重ねの学習ができるようにする。
- ・計算の方法だけを覚えるのではなく、なぜそうするのか等、理由を考え理解を深めていく。
- ・図形を描いたり、作ったりする活動を充実させ、様々な図形の性質を実感をもって理解できるようにしていく。
- ・百分率や割合について、具体物を使ったり、絵や数直線で基準量や比較量をイメージできたりできるようにして意味理解を図る。
- ・学習したグラフや表を他教科でも活用し、データ分析し考察する活動を取り入れていく。
- ・話し合い活動を多く取り入れ、自分の考えを伝え合う活動から、問題を解く方法やコツを学び合っているようにする。

## 児童質問紙より

このアンケートは、「朝食を毎日食べていますか」、「将来の夢や目標をもちっていますか」、「国語の授業は好きですか」など、家庭生活から授業等への取り組みまで多岐にわたり、

73項目の質問に回答するものです。それぞれの質問に対して「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」等で回答し、結果は児童個人にフィードバックせず、学校の傾向として集約され、全国や群馬県の傾向とともに、各学校に届いています。ここでは、伊勢崎市教育構想や学校経営方針と関連する項目や、特に顕著な傾向が見られた8項目について結果を紹介させていただきます。なお、あくまでも学校全体としての比較なので、個人の実態と合わない場合もあることをご理解ください。また、回答者は6年生ですが他学年の保護者の皆様におかれましても、当事者として共に受け止めていただければ幸いです。比較は「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合で比べています。

**①朝食を毎日食べていますか**

**②毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか**

**③毎日、同じくらいの時刻に起きていますか**

①と③について、県・全国より高い水準となっています。しかし②の寝る時間に関しては下回っていました。今後もさらに、各家庭のご理解ご協力を得ながら、食事や起床、就寝時間への関心を高め、安定した生活習慣を確立する必要があると考えます。

**④自分には、よいところがあると思いますか**

**⑤将来の夢や目標をもっていますか**

④⑤については県・全国よりも高い水準となっています。特に、⑤については県平均よりも約12ポイント、全国平均よりも約15ポイント上回っています。自分のよさに気付き前向きに頑張る子供が増え、多くが将来についても目標が持てていることがうかがえます。一方、挑戦することに対する積極性が見られない様子もあります。今後も「ほめる・認める・励ます」など自己肯定感を高め、自信を持つことができる声掛けが重要であると考えます。

**⑥授業時間以外に、普段1日あたりどれくらいの時間勉強しますか**

最も多かった「1～2時間」という回答は、県・全国より高い水準になっています。さらに、本校では次に「2～3時間」が多かったのですが、県・全国ともに次に多いのは「1時間～30分」という結果でした。平均すると、県・全国と比べて学習時間は多いことが推測されますが、引き続き学校や家庭において、自主学習に前向き・計画的に取り組む意識を高める必要があります。

**⑦人が困っているときは、進んで助けていますか**

**⑧いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか**

⑦⑧についてはいずれも県・全国を大きく上回る結果となりました。学習面でも生活面でも、積極性という部分に成長が見られます。引き続き学校では、教育活動全般を通じて、子供たちの道徳性・社会性・積極性を育む指導に努めて参ります。

学校では、これらの結果を踏まえ、引き続き一人一人の学習・生活面の向上、豊かな心と社会性の育成を目指して取り組んで参ります。ご家庭におかれましてもご協力よろしくお願いたします。

## 保護者向け連絡ツールtetoru（テトル）導入について（事前のお知らせ）

本校では、現在「classroom」または「学校ホームページ」により学校からのお便りを配信、「連絡メール2」により学校からの連絡メールを配信、また、欠席連絡につきましては「Googleフォームによる欠席等連絡システム」により、連絡をいただいているところです。今後、学校から保護者への連絡配信や、保護者から学校への欠席連絡につきましては、正確な情報共有のための手段として、より利便性の高い保護者向け連絡アプリ「tetoru」（テトル）を導入・一本化いたします。

スマートフォンアプリから受信でき、境南中ではすでに導入済みです。特に、欠席連絡につきましては、「欠席・遅刻・早退・家庭からの連絡事項」のみの入力になります。今後10月1日付で、お願いの通知を配布しますので、詳細をご覧ください登録をお願いします。11月から試験導入、1月から本格運用とさせていただきます。